

異世界リングフィット

アサルトゲーマー

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

この頃はすっかり冬も深まり、日本でお過ごしの方の父と母と生意気な妹におかれましては、いかががお過ごしでしょうか。

さて、この度は、異世界に迷い込んだ私めの近況を報告したいと文をしたためた次第であります。

目次

異世界でトレーニング | 1

異世界で怪盗 | 7

異世界でトレーニング

拝啓

この頃はすっかり冬も深まり、日本でお過ごしとの父と母と生意気な妹におかれましては、いかががお過ごしでしょうか。

さて、この度は、異世界に迷い込んだ私めの近況を報告したいと文をしたためた次第であります。

私、近戸きんと 零れいは。

「完璧な動きニヤア！」

「ナイスだニヤア！そのまま続けるニヤア！」

「グルグルアームに逃げてるんじゃないニヤン！」

リングコンでモンスターと渡り合っております。

どうして私が異世界くんだりまで赴いたのかはほとんど分かりませんが、なぜコミカルなドラゴンみたいなのとバトルしていると言いますと、食うに困っているからでありました。

はじめに気が付いたのは偶然でしたが、フィットバトルで勝つと食べ物が入ることがあるのです。

ゆえに私は苦しい想いをしてトレーニングしつつコミカルドラゴンを謎エネルギーでしばきまわしているのです（負荷30）

そしてもう一つ。私は今、獣人っぽい三姉妹を養っています。

「やったれニャー！」

「筋肉が喜んでるニャアー！」

「スワイシヨウに逃げるんじゃないニャン！」

思い思いのヤジを飛ばしてくるネコミミ三姉妹のクロ・ベツコウ・シロ。個人的にKS三姉妹と呼んでいる彼女らは命の恩人であり、居候先の家主でもあります。

というのも異世界に来たばかりの私は右も左も分からず、水も食料もないまま森の中を彷徨い、スムージーのみで数日過ごしていたところを彼女たちに拾われたのです。彼女たちに世話をされ、久しぶりの固形物を口にできた私は感激から、ついうっかり口を

滑らせてしまいました。

私にできることでしたらなんでも仰ってください、と……。

バトルをすることで食料を得られると知られていたのが運の尽き、それからは毎日がフィットバトル三昧でした。

やれバナナを出せだの、ミルクを飲ませろだの、お前の苦しむ顔が見たいだの……。毎日が彼女たちに翻弄されております。書いていて気づきました。文に起こすと結構えつちです。

異世界に来たからにはチートが付きものだと思っていたのですが、実際にはそんなふうな話はありません。

リングフィットの顔ともいえるリング君もドラゴ何某もいなければ髪が炎っぽくなることもなく。できることと言えばリングコンを振り回したり押し込んだりすると、ゲームで見たような謎エネルギーで敵を攻撃したりガードできたりするくらいです。代償はもちろん言うまでもなく私の体力。

「スーパーガードニャー！」

「筋肉が喜びの悲鳴をあげてるニャア！」

「ちゃんと守るニャン！ここで耐えたらあとでヨシヨシしてあげるニャン！」

ドラゴンは運悪く強敵で、炎のブレスを防ぐために腹筋と太ももを酷使しておりま

す。

KBS三姉妹は楽観しておりますが、直撃すればまず助からないでしょう。

自分の安全……ごほん。三姉妹の安全のため、ここで倒れるわけにはいけません。

ぬおおおおおおお!! (負荷30)

ぐおおおおお!! (負荷30)

んがああああああ!! (負荷30)

勝ちました(虫の息)

1分近くドラゴンブレスに耐えました。私は勝ったのです。

「何休憩してるニヤン!とつととレッグレイズでアイツを倒すニヤン!」

鬼畜な事を言い始めた三女にリングゴンによる空気砲で抗議しつつ、モモアゲコンボで攻撃していきます。

「やっぱレイは最高ニヤ!」

「汗が輝いてるニヤア!」

「モモアゲコンボに逃げるんじゃないニヤン!」

私は筋トレよりもエアロビクスが好きなので、選ぶのはもちろんそっち系ですね(意

地っ張り)

そのあとドラゴンとターン制フィットバトルを行い、ほうれん草100%のスムージーをがぶ飲みしつつも、なんとか勝利をもぎ取ることになった。

生まれたての小鹿にジヨブを変えた私は、三姉妹の「アレやって！」コールによってもう一度スクワットを行います。

今までの運動をE エクササイズポイント X Pに変換するぞ！

腰を下げて……

全身を伸ばす!!

「ビクトリー！」

「ビークートーリー！」

「超カツコイニヤン！じゃあさつさとハサミレッグを始めるニヤン！」

そのあと沢山のねぎらいの言葉と約一名の文句を浴びながらクールダウンを行い、本日のバトルはお開きとなりました。

色々とお書きでしたが、このような毎日が続いており、退屈とは無縁の生活を矜持しております。

文句もそれなりにありますが、敵を倒しつつも食料が手に入り、さらに筋肉まで付くこの生活は正直言って楽しいので、そこまで心配しないでください。

末筆になりますが、筋肉は一生の相棒らしいのでトレーニングでもしながら私の帰還を健やかにお待ちくださると幸いです。

敬具

王歴78年 猫の月 22日 近戸 零

異世界で怪盗

拝啓

この頃は風にも温かいものが混ざり始め、日本でお過ごしの方の父と母と見目だけはいつもちよまへの妹におかれましてはいかががお過ごしでしょうか。

さて、この度は、異世界に迷い込んだ私めの近況を報告したいと文をしたためた次第であります。

私、近戸 零は。

「ナイスな動きニヤ！仮面が輝いてるニヤ！」（小声）

「お前怪盗に向いてるニヤア！」（小声）

「動きがちよつと気持ち悪くないかニヤン…？」（小声）

KB S三姉妹と怪盗業に勤しんでおります。

なぜ私が異世界くんだりまで赴き、ネコミミ三姉妹と泥棒をやっているかと申しますと、それが彼女たちの本業だったからです。

この世界に疎かった私は。この三姉妹が森のど真ん中という文明の欠片もない、娯楽といえど食事程度の生活を行っている事に何の疑問も持たず。

愚かにも原作のリング君が恋しくなつて、リングお面を作ってしまったのが運の尽き。体のいい荷物持ち兼、戦闘要員として駆り出されてしまったのです。

ちなみにどうして私を怪盗業に連れてきたのかと質問してみたところ。

「妹が誘ったから覆面作ってるのかと思つてたニヤ」

「お姉ちゃんがお仕事に連れて行くからマスク作つてたんじゃないのかニヤア？」

「アネキたちが誘ったからそんなもん作つてたのかと思つてたニヤン」

という、なんとも悲しいすれ違いが発生していました。悪いのは全てリング君です。

ここまで来てしまったからにはしょうがないと観念した私は、軽いスクワットを繰り返して前進してきます。歩いてもないのに前進していることに違和感を覚えていると思いますので、簡単に書きます。

リングフィットアドベンチャーにはアパートやマンションに住んでいる人でも快適に運動ができるよう、足踏みの代わりにスクワットをすることでステージを歩いて行け

るといふ画期的な機能が備わっています。スクワットゆえに足音がしないので、サイレントモード、ということですね。

残念なのか、喜ばしい事なのか。私にはそのサイレントモードの能力を行使できるので足音を全くさせずに前進するという事が可能なのです。

なぜ能力が発覚したかという点、椅子に腰かけようとしたら勝手に体が出て転んだからです。そのまま三姉妹とクラッシュしたのは苦い記憶です。

「さすがのジャンプぢからニャー！」（小声）

「ニンジャみたいだニャア！」（小声）

「階段は深くスクワットするニャンー！ジャンプで甘えてるんじゃないニャンー！」（小声）

少々ずるをしていたのを見咎められるという一幕もありましたが、とうとうお宝のある場所にたどり着きました。

そして今更ながらに、今回の目標を訊いていなかった私は今回のお宝について尋ねたのです。「ターゲットは何なんですか？」と…。

「光る玉ニャ」

「ピカピカの玉ニャア」

「ゴールデンな玉ニャン」

なんとも聞き覚えのある特徴に私は大変驚きました。なんてったって、それはリング

君の能力ですからね。

そもその話最初からスムージーを作っていた時点である程度予測すべきだったのかもしれないが、私は頭の出来がよろしいとは言えませんので、当時は全くの意想外でした。

驚いている間に三姉妹は宝箱を開け、それを白日の下に晒してしまいます。（当時は夜でしたが）

それはまさしくリング君の能力である「なんか金色に光る玉っぽいもの」です。そしてそれは当然のようにリングコンに吸い込まれて行き…。

陸の上にも関わらず、サーフボードの上に乗るといふ珍妙な結果に落ち着きました。ぼかんとした顔で見ってくる三姉妹を尻目にリングコンをお腹に押し付けてみるとオールが出現したので、この玉は川渡りの能力という事です。

「なんかパワーアップしたニヤ」

「玉と合体したニヤア」

「何勝手に吸い込んでるニヤン！とつと金の玉出すニヤン！」

しかしそれが三女の気に障ったのか、ネコパンチでボコボコにされ、騒ぎを聞きつけた衛兵たちに追い回される羽目になりました。

その過程で何やら見覚えのあるコミカルなドラゴンが出現し、もしや今まで戦ってい

たモンスターとは三姉妹への追っ手だったのでと戦慄しつつ、川渡りの能力で地下水道を爆走したりして。そうやって、やつとこさの思いで逃げ延びた先で手紙を書いておきます。

どうしてこうなったかは、どうにも運が無かったとしか言えないのでしよう。

しかし良い発見もありました。光る玉があつたという事は、私はもつとパワーアップできるということです。今後危険が無いとは言えませんので、体を鍛えつつ、強くなつていこうと思います。

今のところは帰る目処は立っていません。しかしこの世界には、なんでも願いを叶える伝説のお宝があるとか。

ひよつとすれば、それを使えば日本に帰ってくることも夢物語ではなくなるかもしれませんが。

都合のいい事に、三姉妹の目指す最大のお宝もこれらしいので、しばらくは彼女たちと怪盗業に勤しむことになりそうです。

最後になりますが、近頃は物騒ですので、戸締りをしっかりと健やかに過ごしてください。

敬具

王歴78年 猫の月 29日
近戸 零

かくしてないで金の玉出すニヤン
↑
シロ